

2018年8月期 第1四半期業績 および通期見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員 CFO

I. 第1四半期決算概要	P3	～	P18
II. 2018年8月期 通期業績予想	P19	～	P21
III. ご参考資料	P22	～	P24

【業績開示について】

- ・2014年8月期末より国際会計基準(IFRS)を適用、本資料上の数字については、すべてIFRSベースで記載しております。
- ・事業利益は、売上収益から売上原価、販管費を控除して算出しております。
- ・各セグメントの構成は、以下のとおりです。
 - 国内ユニクロ事業： 国内ユニクロ事業の数値が表示されています。
 - 海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。
 - ジーユー事業： 国内・海外で展開するジーユー事業が含まれています。
 - グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業が含まれています。
- ・連結業績には上記の他、ファーストリテイリングの業績、連結調整が含まれております。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

計画を上回る、増収増益

単位：億円

	2017年8月期 第1四半期実績	2018年8月期	
		第1四半期実績	前年同期比
売上収益 (売上比)	5,288 100.0%	6,170 100.0%	+16.7%
売上総利益 (売上比)	2,706 51.2%	3,170 51.4%	+17.1% +0.2p
販管費 (売上比)	1,841 34.8%	2,042 33.1%	+10.9% ▲1.7p
事業利益 (売上比)	864 16.4%	1,128 18.3%	+30.5% +1.9p
その他収益・費用 (売上比)	20 0.4%	10 0.2%	▲49.3% ▲0.2p
営業利益 (売上比)	885 16.8%	1,139 18.5%	+28.6% +1.7p
金融収益・費用 (売上比)	156 3.0%	39 0.6%	▲74.8% ▲2.4p
税引前四半期利益 (売上比)	1,042 19.7%	1,178 19.1%	+13.1% ▲0.6p
親会社の所有者に 帰属する四半期利益 (売上比)	696 13.2%	785 12.7%	+12.7% ▲0.5p

【連結】第1四半期 営業利益

売上収益
5,288億円→ 6,170億円
(+881億円)

国内ユニクロ	+182億円
海外ユニクロ	+617億円
ジーユー	+32億円

為替の押し上げ要因は
平均約10%(前年同期比)

ユーロ	約15%
人民元	約10%
USD	約9%
ウォン	約8%

売上総利益率
51.2%→ 51.4%(+0.2p)

国内ユニクロ	▲0.2p
海外ユニクロ	+0.3p
ジーユー	+3.4p

売上販管費比率
34.8%→33.1%(▲1.7p)

国内ユニクロ	▲1.7p
海外ユニクロ	▲2.3p
ジーユー	+0.5p

6,170億円
+16.7%

3,170億円
+17.1%

2,042億円

1,128億円
+30.5%

10億円
その他収益・費用

1,139億円
+28.6%

海外子会社の仕入れにかかわる一時立替金などで
為替差益:8億円
期首為替レート:1ドル約110円
期末為替レート:1ドル約112円

販管費

2018年度
1Q
売上収益

2018年度
1Q
売上総利益

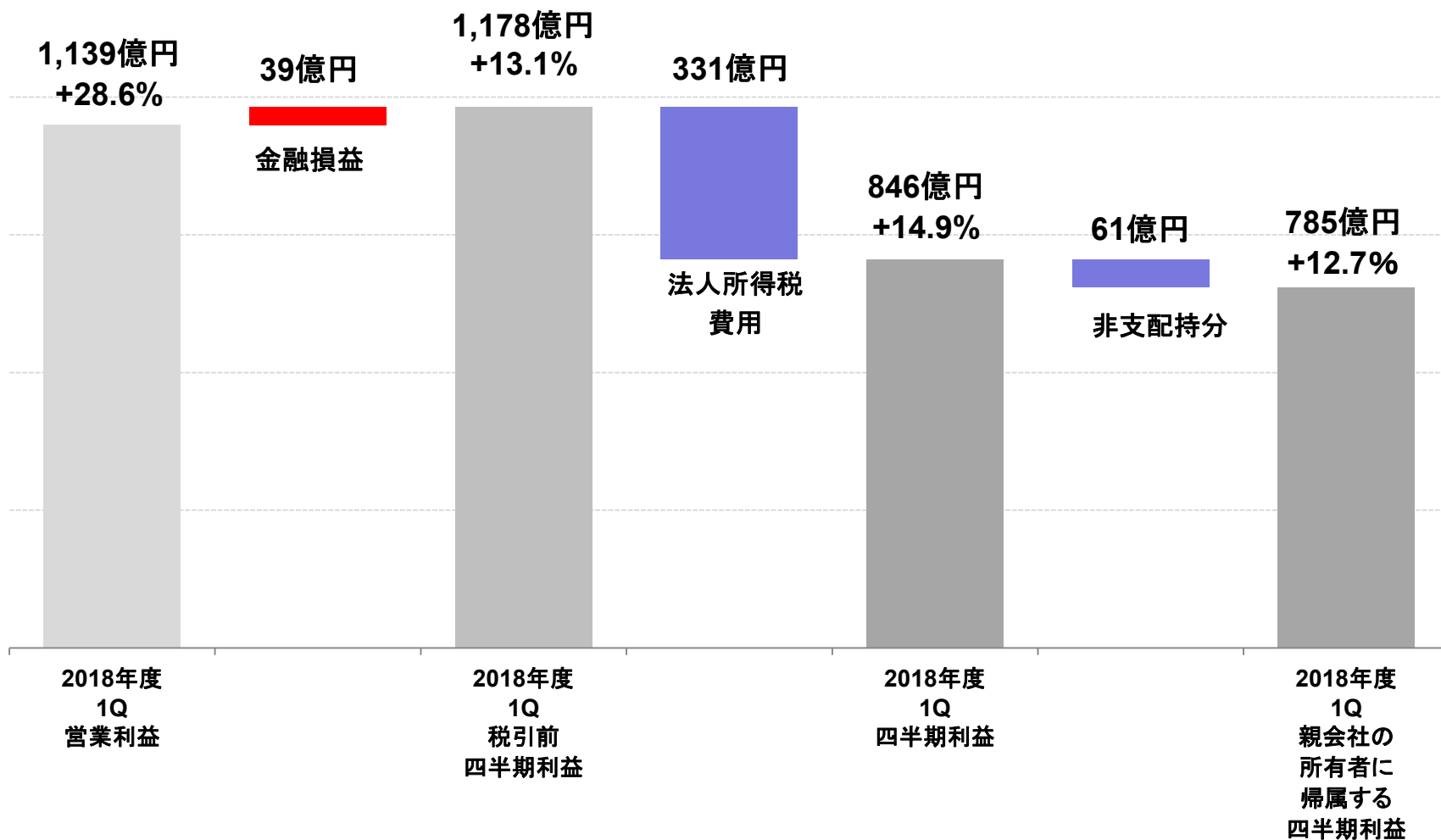
2018年度
1Q
事業利益

2018年度
1Q
営業利益

【連結】第1四半期

親会社の所有者に 帰属する四半期利益

外貨建資産などの換算額が28億円増加
 期首為替レート: 1ドル約110円
 期末為替レート: 1ドル約112円



【セグメント別】第1四半期実績

		2017年8月期 第1四半期実績	2018年8月期	
			第1四半期実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上収益	2,388	2,570	+7.6%
	事業利益 (売上比)	461 19.3%	534 20.8%	+15.8% +1.5p
	その他収益・費用	▲ 5	6	-
	営業利益 (売上比)	456 19.1%	541 21.1%	+18.6% +2.0p
海外ユニクロ事業	売上収益	1,965	2,582	+31.4%
	事業利益 (売上比)	306 15.6%	467 18.1%	+52.7% +2.5p
	その他収益・費用	▲ 4	▲ 0	-
	営業利益 (売上比)	301 15.3%	466 18.1%	+54.7% +2.8p
ジーユー事業	売上収益	575	608	+5.6%
	事業利益 (売上比)	68 11.8%	89 14.8%	+32.0% +3.0p
	その他収益・費用	0	0	▲ 2.9%
	営業利益 (売上比)	68 11.9%	90 14.8%	+31.8% +2.9p
グローバルブランド事業	売上収益	352	400	+13.8%
	事業利益 (売上比)	28 8.2%	31 7.9%	+9.5% ▲ 0.3p
	その他収益・費用	▲ 1	▲ 1	-
	営業利益 (売上比)	27 7.8%	30 7.6%	+10.4% ▲ 0.2p

単位: 億円

注: 国内ユニクロの業績にはグループ間取引が含まれております(売上収益を除く)。

1Q (9~11月) 売上好調、計画を大幅に上回る増益

	2017年8月期 実績 第1四半期	2018年8月期 実績	
		第1四半期	前年同期比
売上収益 (売上比)	2,388 100.0%	2,570 100.0%	+7.6%
売上総利益 (売上比)	1,220 51.1%	1,307 50.9%	+7.1% ▲0.2p
販管費 (売上比)	759 31.8%	772 30.1%	+1.8% ▲1.7p
事業利益 (売上比)	461 19.3%	534 20.8%	+15.8% +1.5p
その他収益・費用 (売上比)	▲5 -	6 0.2%	- -
営業利益 (売上比)	456 19.1%	541 21.1%	+18.6% +2.0p

単位：億円

注：国内ユニクロの業績にはグループ間取引が含まれております(売上収益を除く)。

【国内ユニクロ事業】売上収益

1Q (9~11月) 売上収益 2,570億円 (前年同期比+7.6%)
既存店売上高は、同8.4%増収。計画を大きく上回る

- ・ヒートテック、ダウン、スウェット、メリノセーターなどのユニクロが強みとする秋冬商品の需要が強く、これらの商品の在庫をしっかりとった商売ができた
- ・例年に比べて気温が低く推移したことも追い風
- ・11月は「ユニクロ感謝祭」の販売も計画を大きく上回り、単月での売上は過去最高を更新
- ・客数、客単価は、3ヶ月連続で増加
 - ✓ 客数：キャンペーン商品が集客に寄与。新コラボのJW ANDERSONや新カテゴリーのマタニティ商品などの話題性のある商品も集客に寄与
 - ✓ 客単価：比較的単価の高いアウターやボトムスの販売が好調
- ・Eコマースの売上は同25.6%増、売上構成比 6.0%→7.0%
 - ✓ 11月のEC販売の伸び率は20%弱にとどまる。これは感謝祭期間中にオーダー数が極めて多く、一部の発送が12月にずれこんだ影響。受注ベースでは40%超の伸び率

既存店 前年同期比	2018年8月期				
	9月	10月	11月	1Q累計	12月
売上高	+6.3%	+8.9%	+8.9%	+8.4%	+18.1%
客数	+3.9%	+5.0%	+4.6%	+4.5%	+13.5%
客単価	+2.3%	+3.8%	+4.2%	+3.7%	+4.0%

1Q
(9~11月) **売上総利益率 50.9%** (前年同期比 ▲0.2p)

粗利益率は前年同期比で若干低下 ほぼ計画通りの水準

- ・前年同期比で低下した要因は、為替の社内レートの日安傾向が続いていることで、原価率が上昇したため
- ・値引率は前年同期比で改善。これは、「毎日お買い求めやすい価格」戦略による値引率のコントロールを継続したこと、売上好調による在庫処分の値引きロスが減少したことによる

【国内ユニクロ事業】販管費

1Q (9~11月) 売上販管費比率 30.1% (前年同期比 ▲1.7p)

金額ベースでも計画以上に経費削減 広告宣伝費、物流費の大幅な削減が寄与

- ・広告宣伝費: チラシや店内販促物の効率化
- ・物流費: オペレーションの効率化やバッファ倉庫の削減などにより、店舗関連の物流費は大幅に削減。ただし、Eコマースの拡大で、Eコマース関連の物流費は増加
- ・その他経費: 店舗什器などの消耗品費の削減
- ・人件費: 時給や賞与など従業員の待遇面を改善したことによる人件費増があったものの、生産性の向上が寄与

	前年同期比	
広告宣伝費		- 0.7 ポイント
物流費	同	- 0.7 ポイント
その他経費	同	- 0.3 ポイント
人件費	同	± 0.0 ポイント
減価償却費	同	± 0.0 ポイント
賃借料	同	± 0.0 ポイント

【海外ユニクロ事業】第1四半期実績

1Q (9~11月) 計画を上回る、大幅な増収増益

- ・第1四半期の海外ユニクロ事業の売上収益は、初めて国内ユニクロ事業の売上収益を超えた
- ・粗利益率、経費比率も改善し、収益体質が強化
- ・エリア別では、グレーターチャイナ、韓国、東南アジア・オセアニアが引き続き、大幅な増収増益
- ・赤字が継続していた米国は、この第1四半期では黒字に転じる

		2017年8月期	2018年8月期		単位: 億円
		第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比	
海外ユニクロ事業	売上収益	1,965	2,582	+31.4%	
	事業利益	306	467	+52.7%	
	(売上比)	15.6%	18.1%	+2.5p	
	その他収益・費用	▲4	▲0	-	
	営業利益	301	466	+54.7%	
	(売上比)	15.3%	18.1%	+2.8p	

【海外ユニクロ事業】各エリアの業績トレンド①

**グレーターチャイナ：計画を上回る大幅な増益、
大陸は計画通りの大幅な増益、台湾が計画を上回る
韓国：計画を上回る大幅な増収増益**

【中国大陸】 計画通りの大幅な増益を達成

- ・前年に比べ、寒い秋冬シーズンとなったことから、特に冬物商品の販売が好調
- ・華北・華東・華南といったエリアごとの商品構成を強化し、既存店売上高は計画通り増収
- ・値引きのコントロールで、粗利益率は計画通りほぼ前年並み
- ・経費比率も改善したことから、営業利益は計画通りの大幅な増益を達成
- ・Eコマース販売も好調で、2桁増収が継続

【香港】 営業利益は計画通り、前年並み

- ・観光客の減少の影響などで、既存店売上高は減収。経費削減で営業利益は前年並み

【台湾】 営業利益は、計画を大きく上回り、大幅な増益

- ・在庫調整が一巡、既存店売上高は増収に転じ、粗利益率が大幅改善、経費も削減

【韓国】 計画を上回る、大幅な増収増益を達成

- ・秋冬シーズンは気温が低く、防寒衣料の販売が好調で、既存店売上高は2桁増収
- ・値引きに頼る商売から脱却したことで、粗利益率は大幅に改善、経費比率も改善

【海外ユニクロ事業】各エリアの業績トレンド②

東南アジア・オセアニア：計画を上回る、大幅な増収増益

北米：米国は計画を上回り、黒字に転じる

欧州：ほぼ計画通り、営業利益は大幅な増益

【東南アジア・オセアニア地区】 計画を上回る、大幅な増収増益を達成

- ・東南アジアは、引き続き売上が好調、既存店売上高は2桁増収
- ・常夏の気候に合った夏物商品が好調なことに加え、トラベル需要を捉えた冬物商品（ヒートテック、ウルトラライトダウン）も増収に寄与
- ・収益面では、粗利益率、経費比率ともに改善し、営業利益は大幅な増益
- ・特に業績が良かったエリアは、インドネシアとタイ

【北米】 米国は、営業利益は計画を上回り、この第1四半期は黒字に転じる

- ・米国は、ウルトラライトダウン、フリース、ブロックテック、ジーンズなどのコア商品、KAWS×PEANUTSのコラボ商品が好調で、既存店売上高は計画を若干上回り増収
- ・米国のEコマース販売は、在庫の欠品が改善し、好調な販売
- ・売上が好調だったことから、粗利益率、経費比率が大きく改善

【欧州】ほぼ計画通り、営業利益は大幅な増益

- ・既存店売上高は増収。特に業績が好調だったエリアは、フランスとロシア
- ・2017年9月にはスペインに初出店し、大成功を収める

【ジーユー事業】第1四半期実績

増収増益

- ・売上収益は計画を下回ったものの、営業利益は計画を上回る
- ・国内ジーユー事業の第1四半期の既存店売上高は、計画を下回り、減収
 - ✓ 9月は、チノボトムスや、グレンチェック柄、フェイクファーといったトレンド商品が順調な販売で増収
 - ✓ 10月以降は、トレンド商品の欠品や、厚手のニットやアウター類などの防寒衣料のアイテム数が少なかったことで、計画を下回り減収
- ・粗利益率が前年同期比で大幅に改善
 - ✓ 前年は売価変更が多かったが、今年は値引き販売をコントロールできた
- ・経費も、広告宣伝費や物流費を中心に削減を進め、金額ベースでは計画比で削減
- ・海外ジーユー事業は、増収増益。上海に1店舗出店し、11月末の店舗数は15店舗

		2017年8月期	2018年8月期	
		第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比
ジーユー事業	売上収益	575	608	+5.6%
	事業利益	68	89	+32.0%
	(売上比)	11.8%	14.8%	+3.0p
	その他収益・費用	0	0	▲2.9%
	営業利益	68	90	+31.8%
	(売上比)	11.9%	14.8%	+2.9p

単位:億円

ほぼ計画通り、増収増益

・セオリー事業：計画を若干上回る増益

- ✓ セオリーブランドは、計画通り、安定的に成長
- ✓ PLST(プラステ)ブランドは、売上好調で粗利益率が改善、経費も削減でき、大幅増益

・コントワー・デ・コトニエ事業：営業利益は減益、計画を下回る

・プリンセス タム・タム事業、J Brand事業：赤字が継続

単位：億円

		2017年8月期	2018年8月期	
		第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上収益	352	400	+13.8%
	事業利益	28	31	+9.5%
	(売上比)	8.2%	7.9%	▲0.3p
	その他収益・費用	▲1	▲1	-
	営業利益	27	30	+10.4%
	(売上比)	7.8%	7.6%	▲0.2p

【連結】2017年11月末 B/S

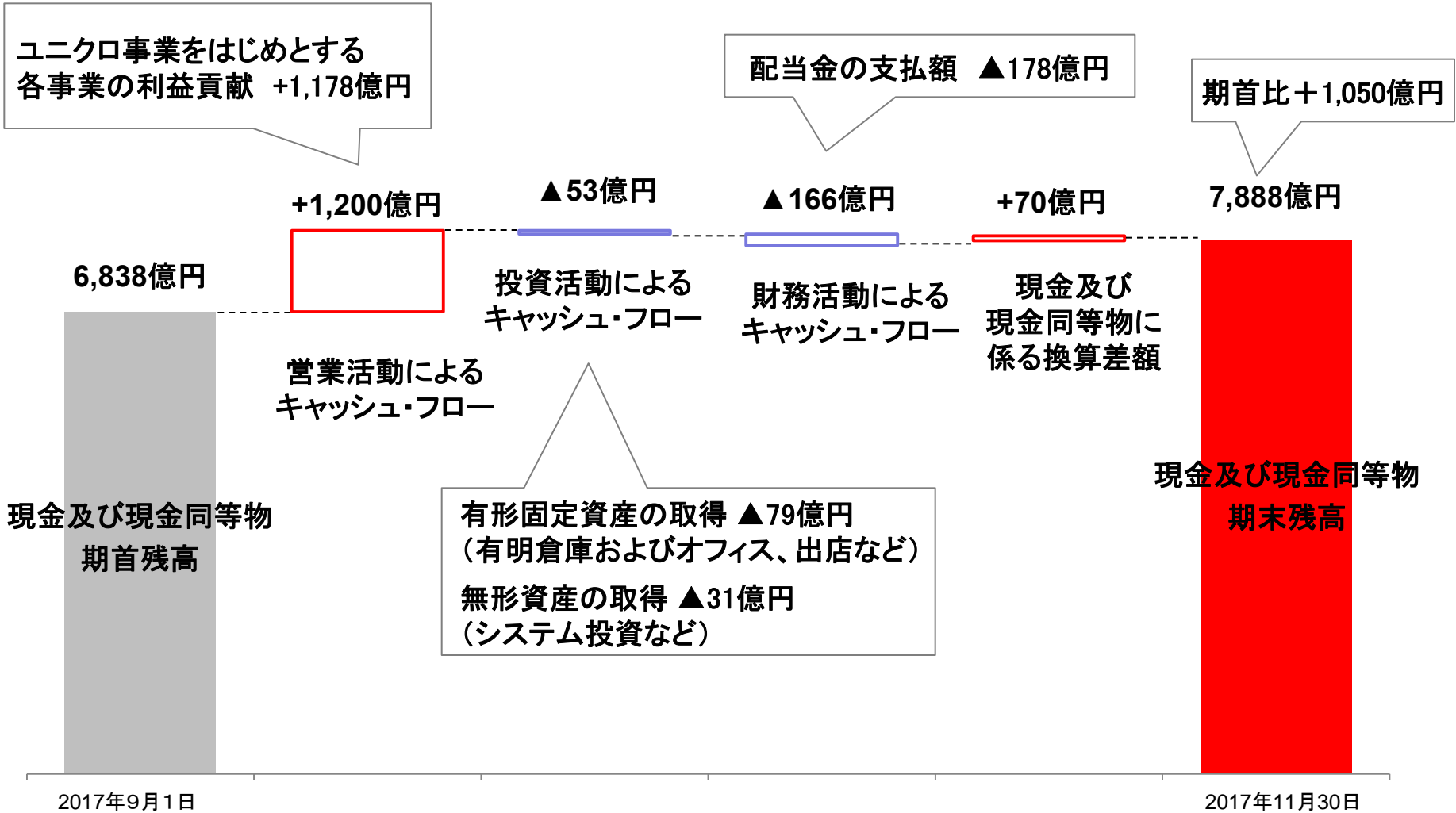
単位：億円

	2016年11月末	2017年8月末	2017年11月末	前年同期比
資産合計	14,109	13,884	16,330	+2,221
流動資産	11,145	10,775	13,141	+1,996
非流動資産	2,963	3,108	3,188	+225
負債合計	6,720	6,264	7,900	+1,179
資本合計	7,388	7,620	8,429	+1,041

流動資産の増加 +1,996億円(1兆1,145億円 ⇒ 1兆3,141億円)

- ・現金及び現金同等物の増加: +3,232億円(4,656億円 ⇒ 7,888億円)
営業キャッシュ・フローの増加、3ヶ月超の定期預金の取り崩し
- ・その他の短期金融資産の減少: ▲1,832億円(2,070億円 ⇒ 237億円)
3ヶ月超の定期預金の取り崩し
- ・たな卸資産の増加: +275億円(2,736億円 ⇒ 3,011億円)
【国内UQ】+33億円 【海外UQ】+225億円 店舗数の増加+132店舗
【GU】+9億円 【グローバルブランド】+8億円
- ・デリバティブ金融資産の減少: ▲85億円(231億円 ⇒ 146億円)
保有する為替予約の平均レートが、11月末の為替レートより円安
為替予約の平均レートと11月末の為替レートの乖離幅が、前年同期末に比べ縮小
ヘッジ会計を適用していることから、損益への影響はなし

【連結】第1四半期 キャッシュ・フロー



【連結】2018年8月期予想 通期業績

業績予想は期初計画通り、変更なし

売上収益	: 2兆500億円	前期比	+10.1%
営業利益	: 2,000億円	前期比	+13.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	: 1,200億円	前期比	+0.6%

	2017年8月期 通期実績	2018年8月期		2018年8月期 第1四半期 実績
		通期予想 (1/11)	前期比	
売上収益 (売上比)	18,619 100.0%	20,500 100.0%	+10.1%	6,170 100.0%
事業利益 (売上比)	1,840 9.9%	2,050 10.0%	+11.4% +0.1p	1,128 18.3%
その他収益・費用	▲76	▲50	-	10
営業利益 (売上比)	1,764 9.5%	2,000 9.8%	+13.4% +0.3p	1,139 18.5%
金融収益・費用	169	0	-	39
税引前利益 (売上比)	1,933 10.4%	2,000 9.8%	+3.4% ▲0.6p	1,178 19.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (売上比)	1,192 6.4%	1,200 5.9%	+0.6% ▲0.5p	785 12.7%

単位: 億円

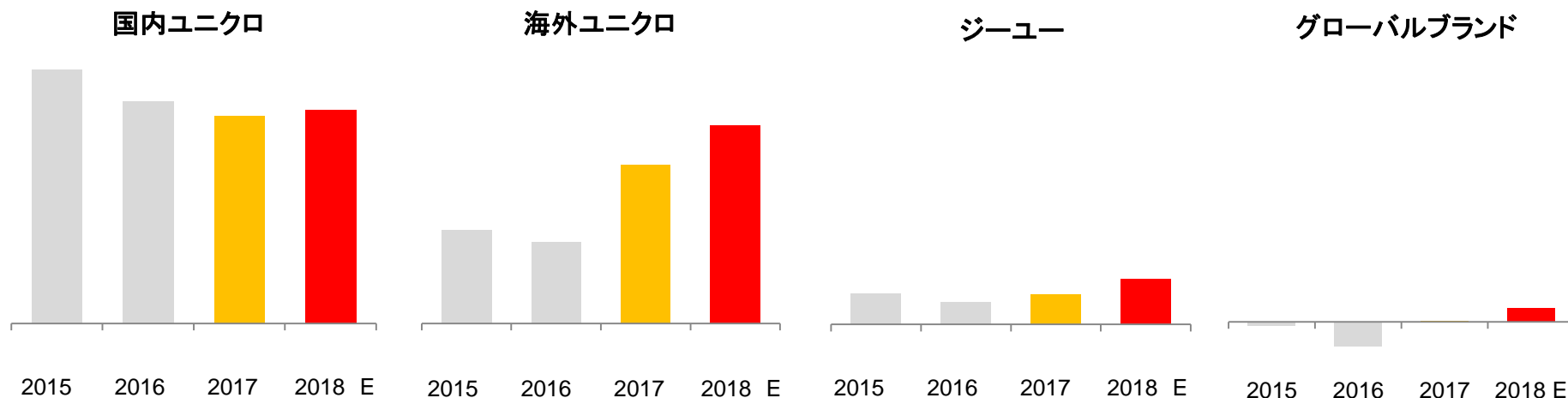
海外ユニクロ事業:通期は大幅な増収増益を予想

- ・1Qは、売上収益、営業利益ともに計画を上回って進捗
- ・グレーターチャイナ、東南アジア・オセアニア地区は、引き続き大幅な増収増益を見込む
- ・韓国、欧州事業も増収増益、米国とカナダを含む北米事業は赤字が半減する見込み

国内ユニクロ事業:通期は若干の増収増益の予想

- ・1Qは、売上収益、営業利益ともに計画を大幅に上回って進捗。12月も好調な売上トレンド
- ・粗利益率は原価率の上昇により若干の低下を予想
- ・物流費、広告宣伝費の効率化など経費削減を引き続き強化していく予定

セグメント別 営業利益のトレンド(イメージ)



ジーユー事業：通期は増収増益を予想

- ・1Qは、売上収益は計画を下回るも、営業利益は計画を上回る
- ・通期の業績予想は、値引きのコントロール、経費の削減により、期初予想通り、増収増益
- ・12月の既存店売上高は、若干のプラスに転じる
- ・業績向上に向けての対策
 - ✓あるべき商品構成の見直しを進める。具体的には、どの世代のお客様からも、“欲しい”と思われる、ファッションを取り入れたジーユーらしい商品を作る
 - ✓生産数量の精度を高め、欠品による機会ロスをなくす
 - ✓売れ筋商品の追加生産体制の強化を進める
生産地の見直し、素材備蓄、縫製工場のキャパシティの確保をおこなう

グローバルブランド事業：通期は増収増益を予想

- ・1Qは、ほぼ計画通りの進捗
- ・セオリー事業は大幅な増収増益を予想
- ・コントワー・デ・コトニエ、プリンセス タム・タム、J Brand事業は、赤字幅の縮小をめざす
 - ✓ファーストリテイリングのグローバルヘッドクォーターが具体的な経営課題に入り込み、解決に向けて、各事業のCEOと共に取り組み、立て直しを図る

< 参考資料 > 連結対象事業別出退店 実績と予想

【単位:店舗】	17年8月期	2018年8月期(2017/9~2017/11)実績			2018年8月期(2017/9~2018/8)予想				
	期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	1,920	66	12	+54	1,974	207	50	+157	2,077
国内ユニクロ事業:※	831	8	6	+2	833	30	30	0	831
直営店	790	7	6	+1	791	-	-	-	-
大型店	209	6	1	+5	214	-	-	-	-
標準店等	581	1	5	▲4	577	-	-	-	-
FC	41	1	0	+1	42	-	-	-	-
海外ユニクロ事業:	1,089	58	6	+52	1,141	177	20	+157	1,246
中国	555	26	5	+21	576	-	-	-	-
香港	25	2	0	+2	27	100	-	-	-
台湾	65	0	0	0	65	-	-	-	-
韓国	179	3	1	+2	181	7	-	-	-
シンガポール	24	1	0	+1	25	-	-	-	-
マレーシア	41	2	0	+2	43	-	-	-	-
タイ	34	1	0	+1	35	-	-	-	-
フィリピン	40	5	0	+5	45	40	-	-	-
インドネシア	12	2	0	+2	14	-	-	-	-
オーストラリア	12	1	0	+1	13	-	-	-	-
米国	44	2	0	+2	46	10	-	-	-
カナダ	2	1	0	+1	3	-	-	-	-
英国	10	1	0	+1	11	-	-	-	-
フランス	19	3	0	+3	22	-	-	-	-
ロシア	20	5	0	+5	25	-	-	-	-
ドイツ	5	0	0	0	5	20	-	-	-
ベルギー	2	1	0	+1	3	-	-	-	-
スペイン	0	2	0	+2	2	-	-	-	-
ジーユー事業	372	13	2	+11	383	49	14	+35	407
グローバルブランド事業合計	1,002	15	8	+7	1,009	33	16	+17	1,019
セオリー事業※	538	11	4	+7	545	25	-	-	-
コントワー・デ・コトニエ事業※	333	2	3	▲1	332	6	-	-	-
プリンセス タム・タム事業※	131	2	1	+1	132	2	-	-	-
総 合 計	3,294	94	22	+72	3,366	289	80	+209	3,503

注: ミーナ事業、グラミンユニクロ事業は含まない ※ フランチャイズ店を含む

＜参考資料＞為替レート

連結決算取込 為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2017年8月期 第1四半期(3ヶ月平均)実績	103.0	114.4	131.2	15.3	9.2
2018年8月期 第1四半期(3ヶ月平均)実績	112.1	131.9	147.8	16.9	9.9
2017年8月期 通期(12ヶ月平均)実績	110.1	120.7	139.7	16.1	9.7
2018年8月期 通期(12ヶ月平均)予想	110.0	120.0	142.0	16.1	9.9

バランスシート適用 為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2017年8月期 第1四半期末為替レート 実績	112.4	119.7	140.4	16.3	9.6
2018年8月期 第1四半期末為替レート 実績	112.1	132.8	150.3	16.9	10.4
2017年8月期 期末為替レート 実績	110.4	131.3	142.7	16.7	9.8
2018年8月期 期末為替レート 予想	110.4	131.3	142.7	16.7	9.8

＜参考資料＞ 設備投資、減価償却費

設備投資・減価償却費(ファイナンスリースを含む)

単位：億円

	設備投資						減価償却費
	国内 ユニクロ	海外 ユニクロ	ジーユー	グローバル ブランド	システム他	合計	
2017年8月期 第1四半期実績(3ヶ月累計)	22	45	13	5	61	148	85
2018年8月期 第1四半期実績(3ヶ月累計)	22	54	28	6	37	149	99
2017年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	66	243	76	29	181	597	396
2018年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	45	281	82	31	358	797	432